

2011年8月22日

各位

株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント

## 新江ノ島水族館から超高精細映像のライブ中継 ～「ナレッジキャピタルトライアル 2011」において最新の映像伝送・上映技術を公開実験～

株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント(本社:大阪市北区、社長:間渕豊、以下「KMO」)が主催するイベント「ナレッジキャピタルトライアル 2011」(開催期間8月26日～28日)において、独立行政法人 情報通信研究機構(以下「情報通信研究機構」)および超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム(以下「URCF」)超高精細映像基盤作業班の協力により、8月28日(日)に、会場の堂島リバーフォーラム(大阪市福島区福島)と新江ノ島水族館(神奈川県藤沢市)との間を次世代ネットワーク技術で結び、超高精細映像(ハイビジョン映像の4倍の解像度:以下「4K超高精細映像」)\*でライブ中継する実証実験を行います。

<取組図>



4K超高精細映像は3Dデジタルシネマとして映画の利用が始まっており、その迫力と美しさは、その場にいるかのような感覚にとらわれるリアルな映像で、これまでの高画質映像のイメージを劇的に変えるものです。しかしながら、大容量のため、一般のインターネット環境でこの超高精細映像の伝送は実現できていません。4K超高精細映像の伝送技術研究は世界的に見ても日本が先行しており、今まさに実用化の段階を迎えようとしています。今回の次世代ネットワーク技術の利用により、4K超高精細のリアルタイム映像を安定的に伝送しライブ中継することが可能になり、エンターテインメント施設の映像を遠隔地で楽しむなど多様な利用形態が期待できます。

「ナレッジキャピタルトライアル 2011」は、2013 年春にうめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」に新たな知的価値を生み出す複合施設として誕生する「ナレッジキャピタル」を開業前に紹介するイベントであり、様々な先端技術分野における実証実験のデモや人材交流のための出会いの場を提供するものです。

情報通信研究機構は、前身の通信・放送機構時代の 1999 年から研究開発テストベッドネットワーク『Japan Gigabit Network』の運用を開始し、その運用を通じて先端的なネットワーク技術の研究開発や多様なアプリケーションの実証実験等、幅広い研究活動を推進してきました。こうした活動を通じて、先端的な研究開発の推進に加え、ICT 人材の育成、地域の研究活動の活性化、国際競争力の向上、産業の活性化等、各種の大きな成果が得られてきました。

今回の取り組みは、新江ノ島水族館で行われているイルカショーや大水槽のリアルタイム映像を、情報通信研究機構および URCF の持つ次世代ネットワーク技術によって、「ナレッジキャピタルトライアル 2011」にてライブ上映することで、来場者に、“実際に水族館を訪れているような臨場感”を味わって頂くものです。将来的には「ナレッジキャピタル」での子供たちの環境学習などへの活用に繋げてまいります。

また、新江ノ島水族館の運営・管理に参画するオリックス不動産では、2012 年春には京都市の梅小路公園内にて整備を進めている『京都水族館』および東京スカイツリーの複合施設内に設けられる『(仮称)墨田水族館』の開業を予定しており、今後は「ナレッジキャピタル」の最先端技術を活用し、3つの水族館において相互に映像技術を駆使した学習機能の提供を図っていく予定です。

\*ハイビジョン映像が横方向に約2,000画素、縦方向に約1,000画素、1画面あたり約200万画素を持つのに比し、今回上映する4K超高精細映像は、横方向に約4,000画素、縦方向に約2,000画素、1画面あたり約800万の画素を持ち、ハイビジョン映像の4倍の解像度を有しています。

以 上

**【本件に関するお問い合わせ先】**

株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント 古市・城戸 TEL:06-6342-8976  
オリックス不動産株式会社 社長室 田海・永井 TEL:03-5574-4009

<添付資料>

■ 関係者概要

<独立行政法人 情報通信研究機構>

【 設 立 】 2004 年 4 月に旧通信総合研究所と旧通信・放送機構を統合し、現組織となる。発足は 1896 年の通信省電気試験所に遡る。

【 組織概要 】 独立行政法人情報通信研究機構は、情報通信技術分野における国の唯一の公的機関として、経済の成長と発展、豊かで安心・安全な社会の実現の原動力である情報通信技術（ICT）分野の研究開発と事業振興業務を進めている。具体的にはネットワーク基盤技術、ユニバーサルコミュニケーション基盤技術、未来ICT基盤技術、電磁波センシング基盤技術の4つの領域を基本に、産学官連携及び国際連携のもとで研究開発を推進する。

【 理事長 】 宮原秀夫氏

<超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム>

【 設 立 】 2007年3月

【 組織概要 】 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラムURCF（Ultra-realistic Communications Forum）は、総務省及び情報通信研究機構が設立した産学官連携 組織。あたかも、その場にいるかのような環境・感覚を提示する超臨場感コミュニケーション技術、すなわち、超高精細・立体映像、高臨場感音場再生、触覚・嗅覚を含めた五感通信などを実現するために、関係する研究者・事業者・利用者等が広く参集し、情報交換や異文化交流を行いながら、産学官で連携して研究開発・実証実験・標準化等を効果的に推進している。

【 会 長 】 原島博氏（東京大学名誉教授）

<新江ノ島水族館>

【 所在地 】 神奈川県藤沢市片瀬海岸 2-19-1

【 開 業 】 2004 年 4 月

【 施設概要 】 地上 2 階、地下 1 階建、延床面積 12,804 m<sup>2</sup>、総水量 3,000t

【 運営・管理 】 江の島ピーエフアイ株式会社

【 事業概要 】 新江ノ島水族館はオリックスグループならびに株式会社江ノ島マリンコーポレーション等の企業による共同事業。湘南海岸に浮かぶ富士山と江ノ島を望む、絶景のロケーションに恵まれたイルカショースタジアム、8,000 匹のマイワシの大群がうねり泳ぐ相模湾大水槽など、遊びながら学ぶことができる本格的なエデュテインメント型水族館。

【 館 長 】 堀由紀子



<オリックス不動産株式会社>

【本 社】東京都港区赤坂2丁目3番5号赤坂スターゲートプラザ

【設 立】1999年3月

【株 主】オリックス株式会社(100%)

【事業内容】マンション・戸建等の分譲及び賃貸事業、オフィスビル開発、  
ゴルフ場、ホテル・研修センター、水族館等の運営事業

【代表者】代表取締役会長 西名 弘明

代表取締役社長 山谷 佳之

<株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント>

【本 社】大阪市北区梅田1丁目12番39号 新阪急ビル

【設 立】2009年4月

【株 主】うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」開発事業者12社

【事業内容】2013年春に「グランフロント大阪」に新たな知的価値を生み出す複合施設として誕生  
する「ナレッジキャピタル」の企画・運営会社

【代表者】代表取締役社長 間瀬 豊

以上